

例題 1

ブロックチェーンに関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア RADIUS を必須の技術として、参加者の利用者認証を一元管理するために利用する。
- イ SPF を必須の技術として、参加者間で電子メールを送受信するときに送信元の真正性を確認するために利用する。
- ウ 楕円曲線暗号を必須の技術として、参加者間の P2P (Peer to Peer) 通信を暗号化するために利用する。
- エ ハッシュ関数を必須の技術として、参加者がデータの改ざんを検出するために利用する。

正答番号 エ

例題 2

以下は、警察庁の広報資料である「令和6年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」に関する内容であるが、誤りはどれか。

- ア 令和6年4月、全国を管轄して直接捜査を実施する「サイバー特別捜査隊」を「サイバー特別捜査部」に改組した。
- イ 令和6年中、特殊詐欺と SNS 型投資・ロマンス詐欺の被害額は、合計で約 200 億円に上った。
- ウ 令和6年におけるインターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害総額は約 86 億 9000 万円となっており、フィッシングがその手口の 9 割を占める。
- エ IHC (インターネット・ホットラインセンター) の運用ガイドラインを改定し、犯罪実行者募集情報を違法情報に位置付け、取組を強化した。

正答番号 イ